

# 決算・経営説明会資料

2024年5月13日（月）

三菱製紙株式会社

- 1. 2024年3月期 決算概況**
2. 2025年3月期 業績予想

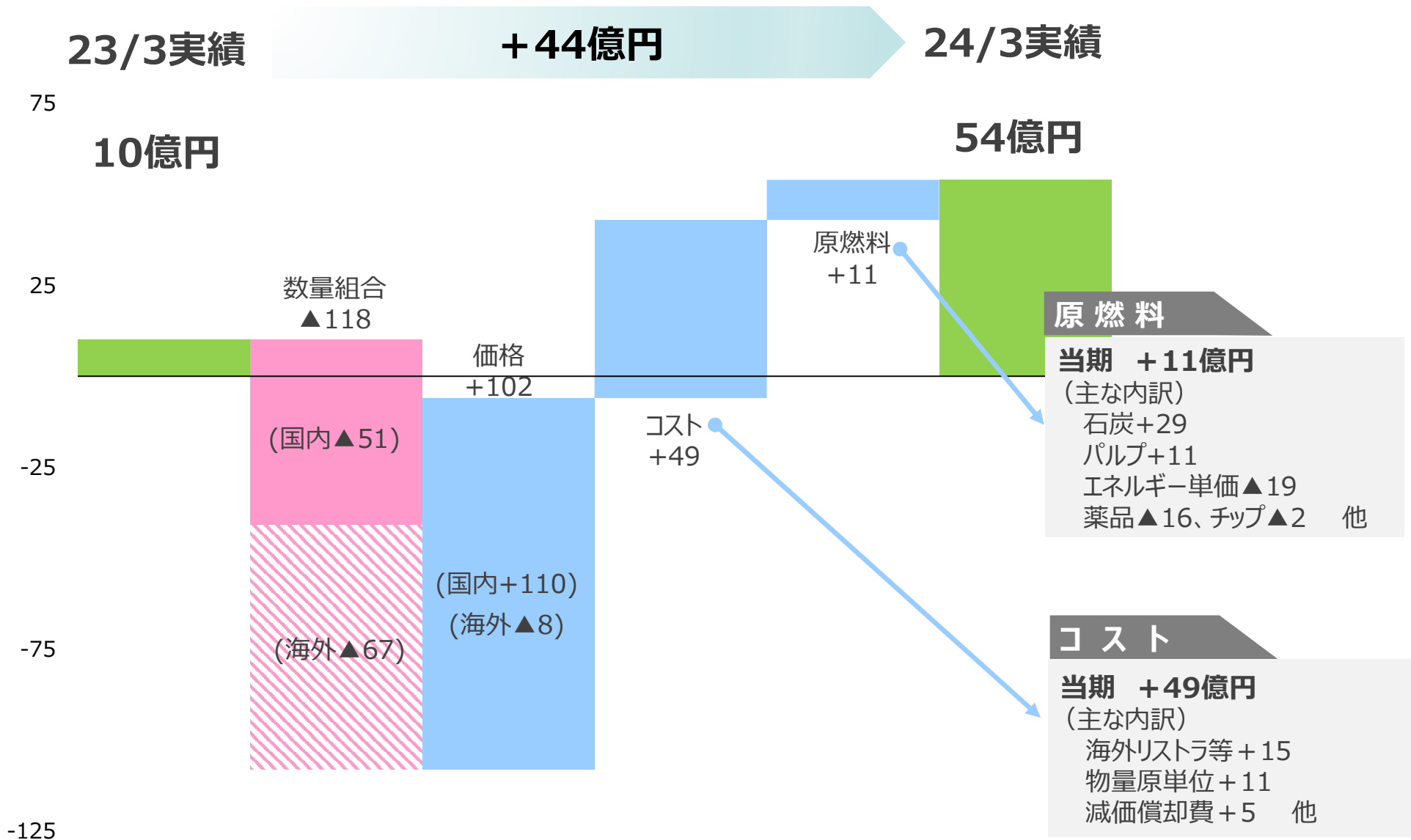
(単位：億円)

	2023年3月期 実績 (a)	2024年3月期 実績 (b)	増減 (b) - (a)	%
売上高	2,095	1,935	▲160	▲7.7%
営業利益	10	54	44	458.7%
経常利益	31	71	40	129.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲6	42	48	-

(単位：億円)

	2023年3月期 (c)		2024年3月期 (d)		増減 (d) - (c)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
機能商品事業	1,100	32	974	41	▲126	9
紙素材事業	1,016	▲24	975	12	▲41	36
その他	53	1	56	1	3	0
消去	▲74	1	▲70	0	4	▲1
連結合計	2,095	10	1,935	54	▲160	44

(単位：億円)



## ➤ ① 適正価格維持の取り組み(+110)

- ✓ 紙素材を中心に前期実施した改定価格を維持
- ✓ 不採算銘柄の価格是正
- ✓ 印刷用紙の国内需要に合わせた輸出拡大

## ➤ ② コストダウン取り組み(+49)： あらゆる方面で徹底的な コストダウンを実施

- ✓ 工場コストダウン……………+23  
(歩留改善、省エネ他)
- ✓ 労務費削減……………+15  
(フレンスブルク工場売却、子会社統合他)
- ✓ 販売管理費削減……………+4 等

## ➤ ③ その他構造改革：選択と集中による構造改革を推進

### ✓ 組織合理化：

子会社・孫会社数推移※

2023.3.31	26社
2023.4.1	18社
2024.4.1	12社
2024.7.1 (予定)	11社

※清算手続き中の子会社を除く

### ◆事業譲渡

- ドイツ事業フレンスブルク工場売却
- (株)カツマタ(孫会社)の感熱紙仕上げ等事業譲渡
- 菱紙(株)(子会社)のスポーツクラブ運営事業譲渡

### ◆子会社統合

- 当社への合併：新北菱林産(株)、京菱ケミカル(株)、高砂紙業(株)
- 三菱製紙エンジニアリング(株)への合併：菱工(株)
- 三菱王子紙販売(株)への合併：菱紙(株)
- 三菱王子紙販売(株)への統合：KJ特殊紙(株)の営業部門※

※7月1日付でKJ特殊紙(株)を当社へ合併予定

### ✓ 生産拠点集約：

### ◆白河事業所の耐熱プレスボード製造事業を高砂工場へ移管

1. 2024年3月期 決算概況
2. 2025年3月期 業績予想

(単位：億円)

	2024年3月期 実績 (e)	2025年3月期 予想 (f)	中期経営計 画目標値	増減	
				(f) - (e)	%
売上高	1,935	1,970	1,950	35	1.8%
営業利益	54	80	75	26	47.9%
営業利益率	2.8%	4.1%	3.5%以上	1.3%	46.4%
経常利益	71	80	85	9	12.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	42	80		38	90.5%

2025年3月期業績予想 前提条件

〈前提条件〉

- 為替：150円/US\$
- 原油価格（ドバイ）：90US\$/バレル
- 石炭価格：140US\$/トン

〈感応度〉

- 為替：1円/US\$ 円安で0.3億円減益
- 原油価格（ドバイ）：1バレルあたり1US\$ 上昇で1億円減益
- 石炭価格：1トンあたり1US\$ 上昇で0.3億円減益



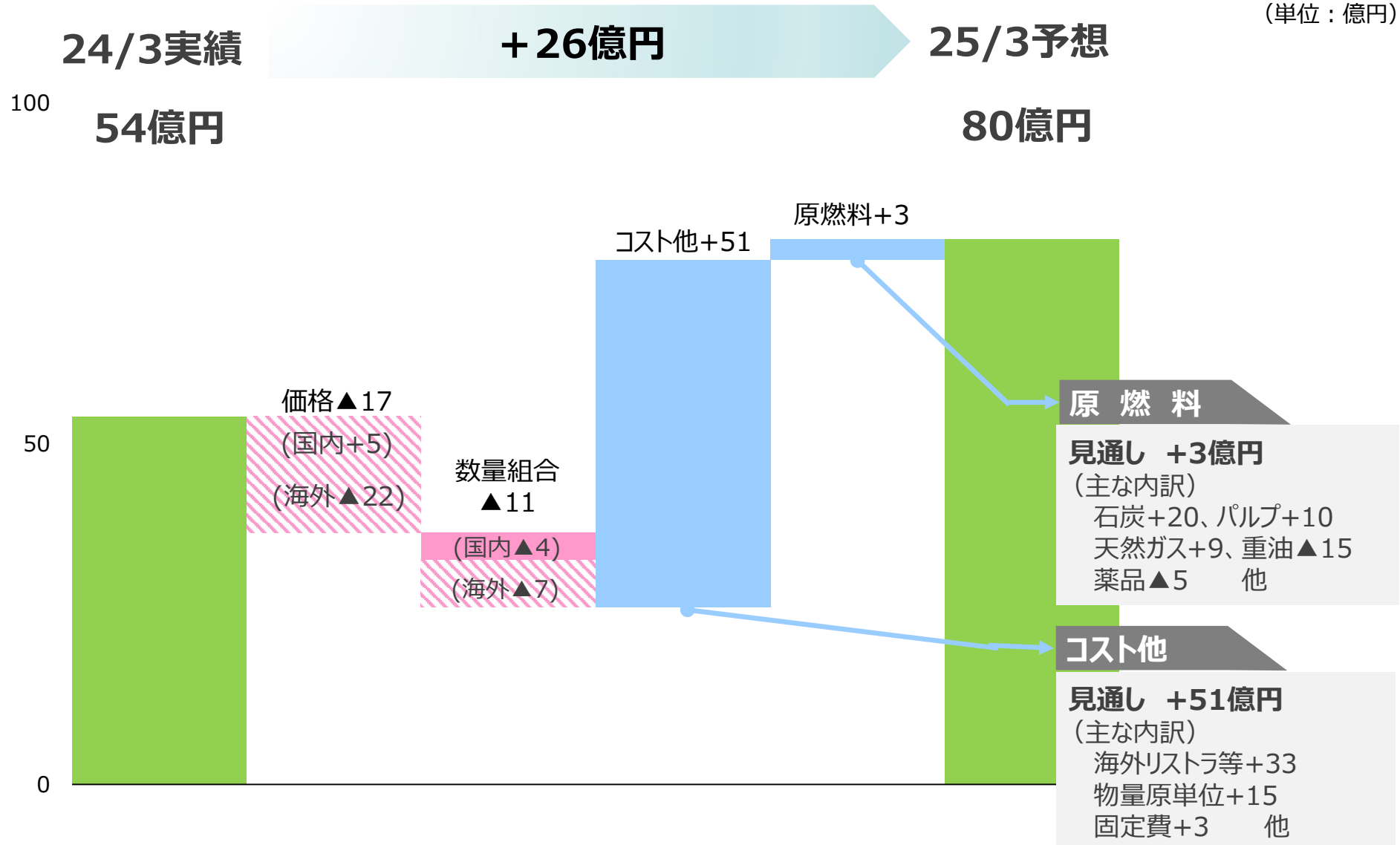
## &lt;新セグメント別&gt;

(単位：億円)

	2024年3月期 (g)		2025年3月期 (h)		増減 (h) - (g)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
機能商品事業	974	41	1,000	70	26	29
紙素材事業	975	12	980	10	5	▲2
その他	56	1	40	0	▲16	▲1
消去	▲70	0	▲50	0	20	0
連結合計	1,935	54	1,970	80	35	26

➤ 徹底的なコストダウンにより、価格・数量組合影響をカバー、安定した収益体制を構築

(単位：億円)

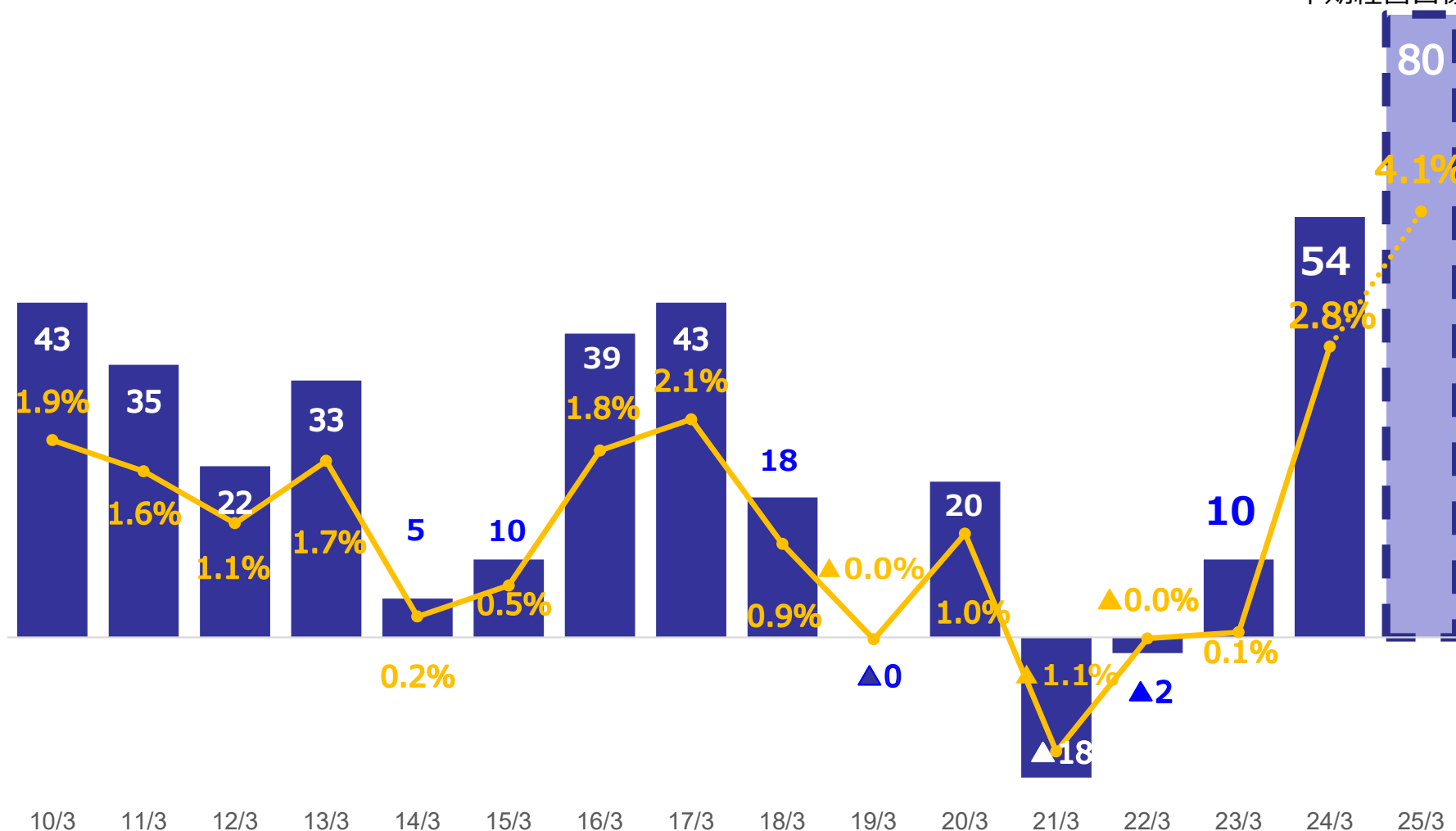


(単位：億円)

■ 営業利益    ● 営業利益率

中期経営計画対象期間

中期経営目標値：75

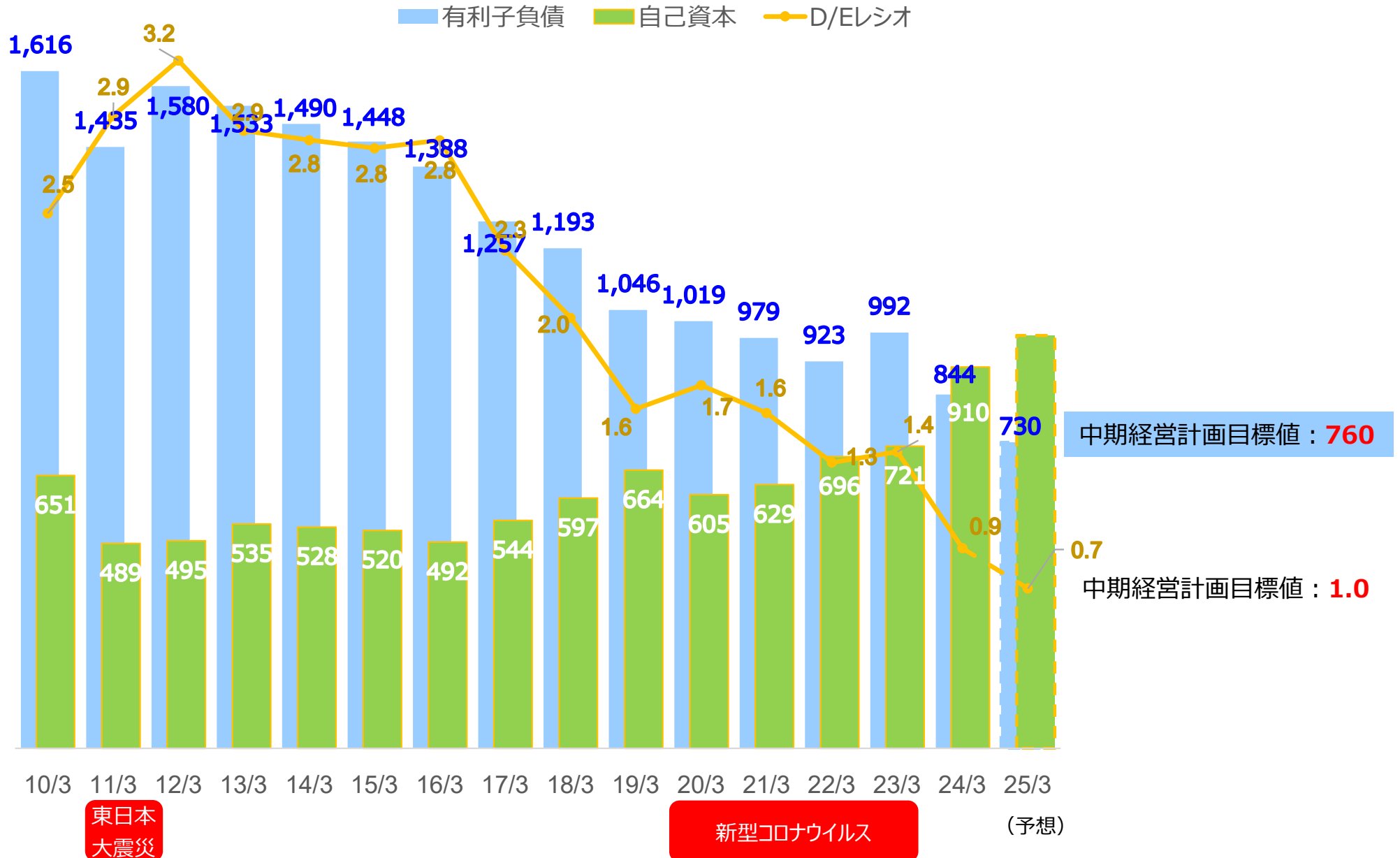


東日本  
大震災

新型コロナウイルス

(予想)

(単位：億円)



（単位：億円）

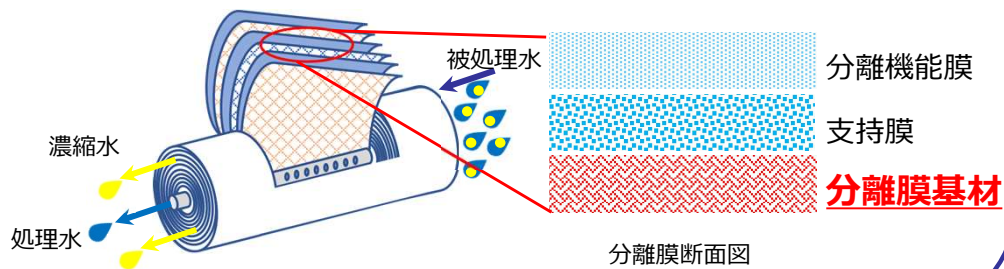
中期経営計画対象期間

	2022年3 月期実績	2023年3 月期実績	2024年3月 期実績	2025年3 月期予想	中期経営 計画目標 値	中長期ア スピレー ション
売上高	1,819	2,095	1,935	1,970	1,950	2,000
売上高比率※1 機能商品：紙素材	(1:2.8)	1.1 : 1 (1:2.8)	1 : 1 (1:2.9)	1 : 1 (1:2.5)	(1:2.5)	(1:1)
営業利益	▲2	10	54	80	75	150
営業利益率	-	0.5%	2.8%	4.1%	3.5%以上	7.5%以上
D/Eレシオ	1.3	1.4	0.9	0.7	1.0	0.5

※1：（）書き部分は旧セグメントでの比率

## ✓ 分離膜基材

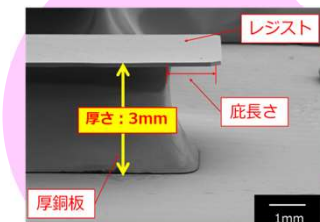
- ・用途拡大  
水処理(海水淡水化/清浄水)  
⇒ 医薬品/食品工業用途へ
- ・販路拡大  
アジア ⇒ 日欧米中東 へ



## ✓ 電子工業材料

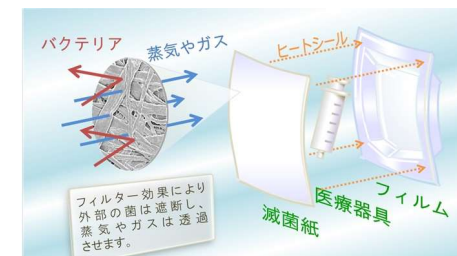
- ・DFR(高耐薬品性ドライフィルムレジスト)市場  
通信機器用部品の加工分野で拡大中
- ・用途拡大  
車載用部品の加工  
難エッチング加工

厚銅エッチング用レジスト  
(難エッチング)



## ✓ 滅菌紙

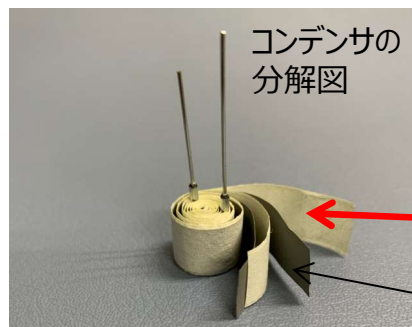
- ・医療用具の滅菌用包材に使用される滅菌紙
- ・ノンコート/コート紙/不織布タイプをラインアップしており、用途に合わせて選択可



## ✓ 蓄電デバイス用セパレータ

- ・キャパシタ(電気二重層/固体電解/ハイブリッド)市場  
自動車電装化/IT通信機器への適用で拡大中
- ・新抄紙機(2022年度稼働) による増産
- ・機能性向上品を展開中

### セパレータ



セパレータ: 正負極の分離  
電解液保持

## ✓ 環境対応型ラベル

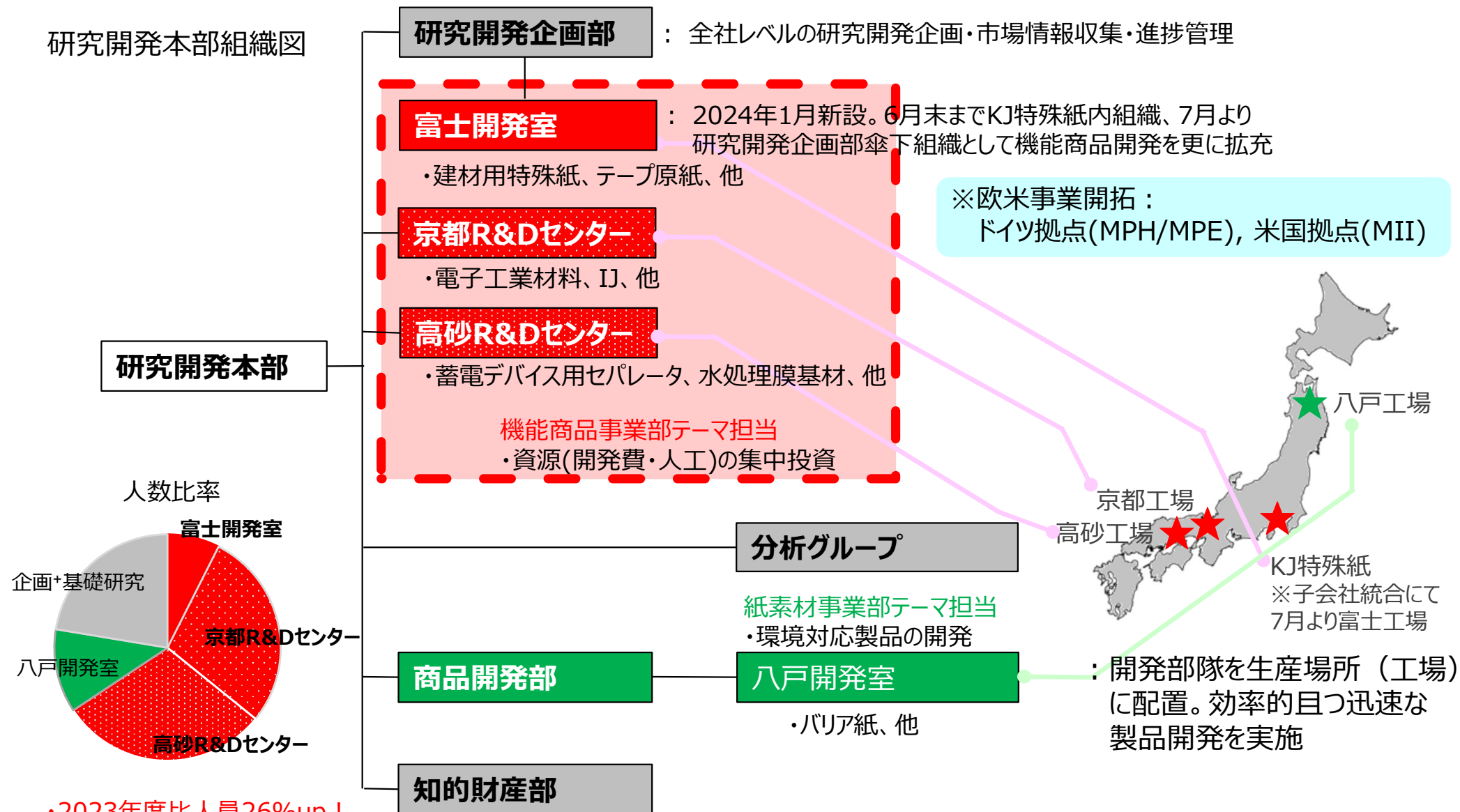
- ・ライナーレスによる、廃棄物削減
- ・様々な印字タイプに対応  
感熱/インクジェット/熱転写など
- ・シリコーンレスだから、  
捺印可 / 手書き可

### 環境対応型ラベル



## 研究開発体制の充実

研究開発本部組織図



・2023年度比人員26%up!  
・機能商品領域に注力!

## ➤ 脱プラ・廃プラ、安全かつ快適なサステナブル社会の実現に貢献する製品の拡販

[当社品採用事例 (バリア紙)]

### ✓ 包装紙

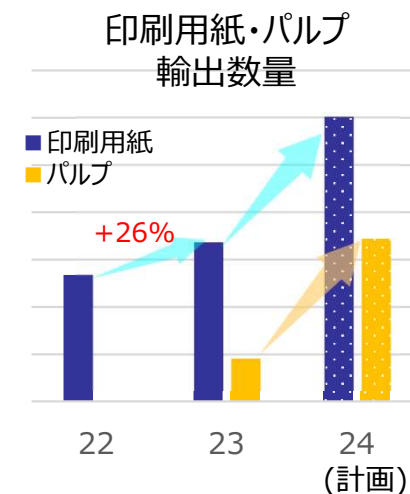
- ・バリア紙： 減プラ・脱プラの動きが加速する中、プラスチック包装代替として採用進行。
- ・晒クラフト紙： 当社品の特徴である強度やインキ発色性が好評、採用事例増加。継続して販売を推進。



株式会社ドトールコーヒー「初釜」コーヒー包装

### ✓ 輸出版売の拡大

- ・為替動向に沿って輸出版売を拡大。
- ・印刷用紙輸出数量は2022年度→2023年度にて**26%**増。国内需要減少を輸出でカバー。2024年度は更なる増加を計画。
- ・2024年度は印刷用紙に続きパルプ輸出も拡大。2023年度比で**277%**増計画。





## ▶ グリーン社会に貢献する活動への取り組み

### ✓ カーボンニュートラル

#### ① CO2排出量削減

2030年度に2013年度対比で40%削減を目標

→ 2023年度は**25%**の削減見込

#### ② 省エネ推進

前年比1%の省エネ推進

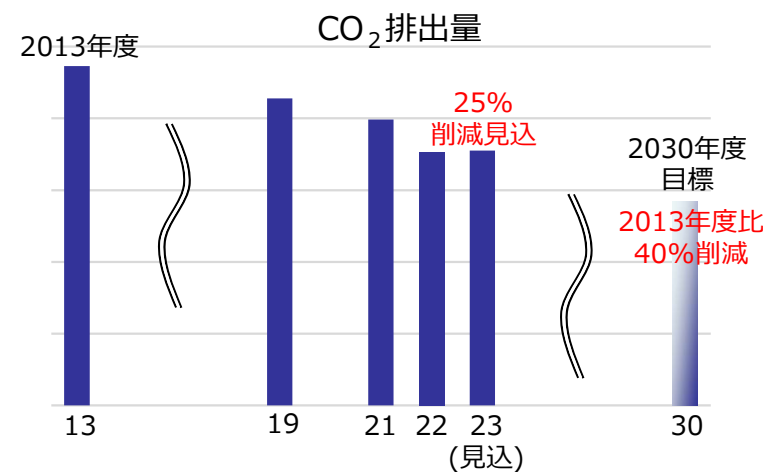
#### ③ GXリーグへ参画

### ✓ SDGs

- 「三菱製紙 ニッシー・カッシーの森」制度を創生し、株主への植樹体験の提供を決定

### ✓ その他

- 燃料転換、省エネ推進等に向けた設備投資を検討



カッシー

ニッシー

## ➤ その他重点施策

- ✓ 組織合理化の進行 : グループ会社再編を継続検討、7月1日付でKJ特殊紙(株)を当社へ合併予定。
- ✓ 人材投資の拡大 : キャリアアップ教育の充実（階層別研修、女性キャリアアップ研修、他）、資格手当拡充、ワークエンゲージメント向上、ビジネススキル講座受講による能力開発(リスキリング)、職務とスキルに基づく新人事制度の設計、全社表彰制度新設
- ✓ DX推進 : IT業務基盤の刷新完了→業務改善・安全対策として新たなDXの推進

## ➤ サステナビリティ向上のための組織変革

- ✓ コーポレートガバナンス強化 : ステークホルダーとの対話の充実、「三菱製紙 ニッシー・カッシーの森制度」新設
- ✓ ダイバーシティ&インクルージョン : 女性社外取締役、女性常勤監査役、女性執行役員の就任、2023年度女性採用比率40%、外国人採用の推進、営業要員確保による海外戦略強化、工場要員の派遣受け入れ、障がい者雇用推進
- ✓ 働き方改革の推進 : 育児介護在宅勤務適用対象拡大、時差出勤制度等によるワークライフバランス充実・生産性向上
- ✓ コンプライアンスの徹底 : 内部通報の実効性向上、ハラスメント撲滅宣言
- ✓ 社外発信の強化 : コーポレート・レポートに代えて統合報告書を発行、YouTubeチャンネル「GreenWebcast」による情報発信強化

- ✓ 企業価値向上の取り組み（実施中）：
  - 機能商品事業： 成長事業且つ高収益事業。集中投資による売り上げ拡大
  - 紙素材事業： コストダウン及び選択と集中による構造改革で競争力強化、収益性向上
  
- ✓ 今後の経営指標目標値の設定については、次期中期経営計画（2026年3月期－2028年3月期）策定において検討を予定

	2024年3月期実績
PBR※	0.30
ROE	4.6%
ROIC	2.6%

※：株価は2024年3月29日終値

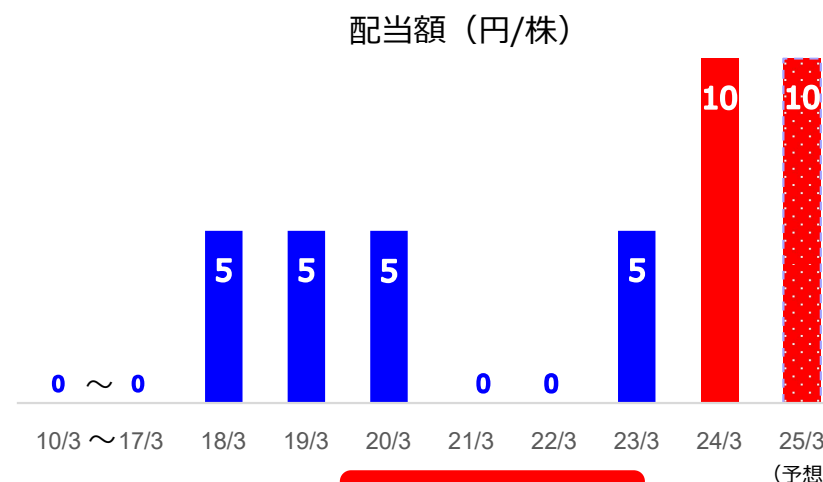
## 剰余金の配当等の決定に関する方針

- 株主への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、各事業年度の業績と今後の経営諸施策に備えるための内部留保を勘案しながら、配当を安定的かつ継続的に実施することを基本方針とする

## 2024年3月期 期末配当及び2025年3月期 配当予想

- 2024年3月期については、上記方針に従い、配当を安定的かつ継続的に実施することと、直近の業績動向を総合的に勘案した結果、1株あたり**10円**の期末配当を実施予定
- 次期の配当については、年間で1株あたり**10円**を予定

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
年間	5円	10円	10円



新型コロナウイルス

本資料における予想数値や業績見通しに関する記述は、現時点における将来の経済環境予測や入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の実際の決算・業績数値とは異なる可能性があります。